

# 第4章 市民ニーズの把握

ここでは、市政世論調査及び交通環境に対する市民意識調査、新潟市内都市交通特性調査より、交通に関する市民ニーズについて整理します。

## ①第44回市政世論調査(2017年10月)

### (i) 自動車に頼らなくても移動しやすいか

- 2017年に実施した市政世論調査では、自動車に頼らなくても「移動しやすいまちだと思わない」と回答する市民の割合が約8割を占めています。（「あまり移動しやすいまちだと思わない」を含める）。
- 区別に見ると、最も割合の高い南区では約9割、江南区、西蒲区で8割以上と市全体より高くなっています。

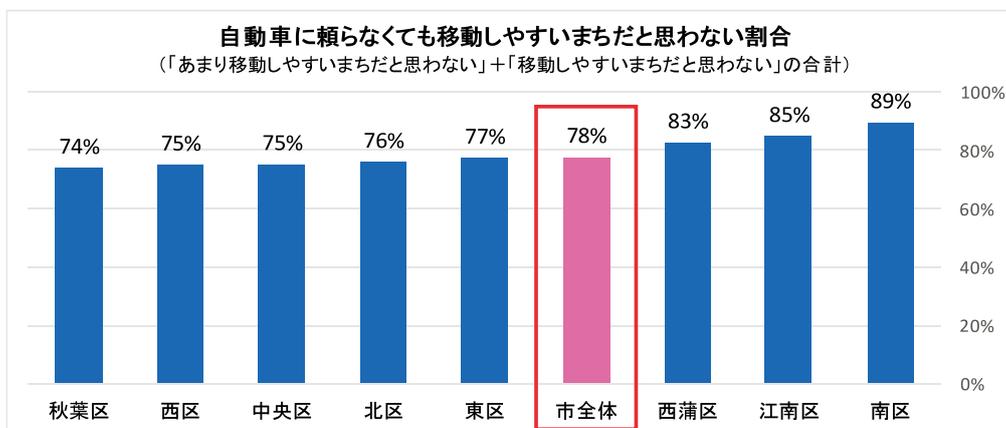


図 「自動車に頼らなくても移動しやすいまちだと思わない」割合

## ①第44回市政世論調査(2017年10月)

### (ii) 移動しやすいまちを実感するために必要なこと

- 移動しやすいまちを実感するために必要なことは、市全体では『②連続的な自転車通行空間』と『④公共交通による都心アクセス』が拮抗しています。
- 東区や中央区では『②連続的な自転車通行空間』が重視される一方、南区や江南区、西区などでは、『④公共交通による都心アクセス』が重視される傾向が見られます。

表 移動しやすいまちを実感するために必要なこと

	市全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区
① バリアフリー化された歩道が整備されている	29%	33%	31%	31%	26%	27%	31%	27%	24%
② 道路に自転車が行き来できる空間が連続的に整備されている	33%	32%	40%	38%	30%	30%	15%	32%	28%
③ 生活バス路線の充実や乗合タクシーの運行が図られている	26%	25%	31%	32%	25%	22%	21%	24%	18%
④ 鉄道やバスで都心部へ気軽に行き来できる利便性が図られている	32%	32%	28%	22%	40%	32%	42%	38%	37%

※いずれかの区において1位・2位となっている項目のみを抜粋

■ 1番目に高い項目  
 ■ 2番目に高い項目

## ①第44回市政世論調査(2017年10月)

### (iii) 交通手段(鉄道・バス)満足度

- 鉄道、バスについて、『満足と回答された割合』(「満足」と「やや満足」の合計)をみると、市全体では、鉄道が3割であることに対して、バスは約2割に留まっています。
- 鉄道は、南区、西蒲区で2割未満と低く、バスは、江南区、南区、西蒲区で1割未満と特に低くなっています。
- 本市と同規模の他都市と比較すると、鉄道、バスいずれも本市(市全体)より高い満足度にあります。

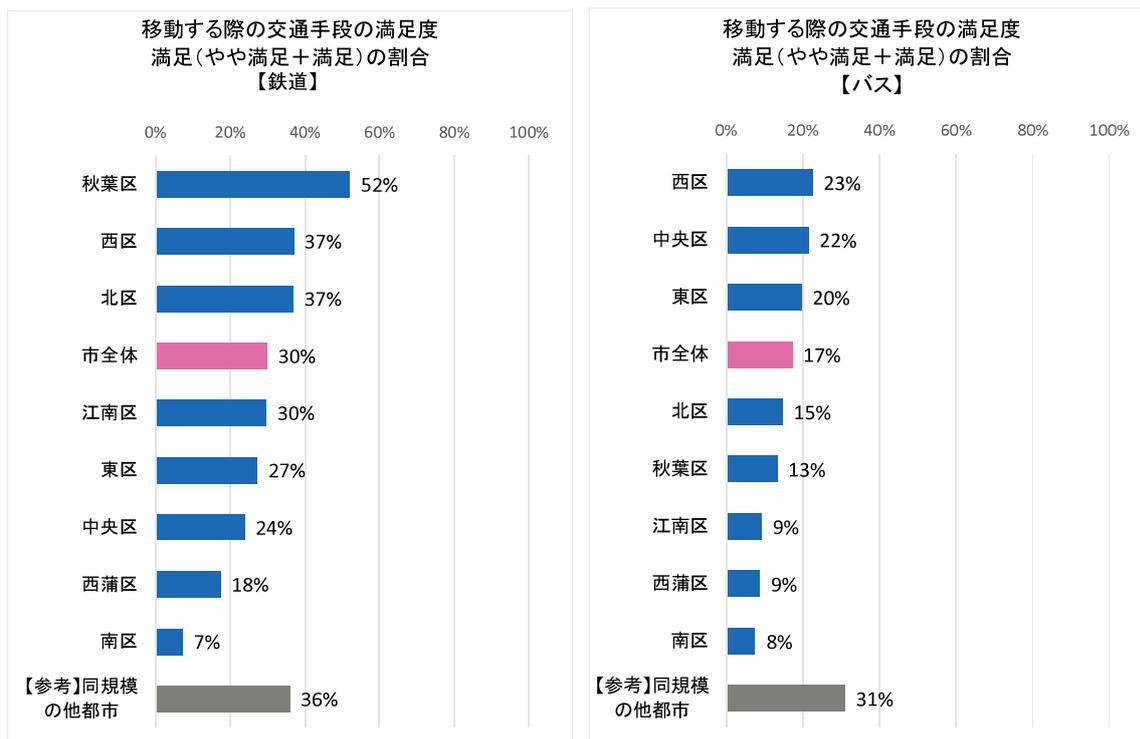


図 移動する際の交通手段の満足度(鉄道、バス)

## ②新潟市内都市交通特性調査(2016年)

### (i)希望する運行間隔

- 希望する鉄道運行間隔を区別に見ると、中央区、西区では10分間隔を希望する割合が約3割と高い結果となっていますが、多くは20～30分間隔を望んでいることがわかります。
- 希望するバス運行間隔を区別に見ると、中央区、西区で10分間隔を希望する割合が約4～5割と、他の区より高い結果となっています。

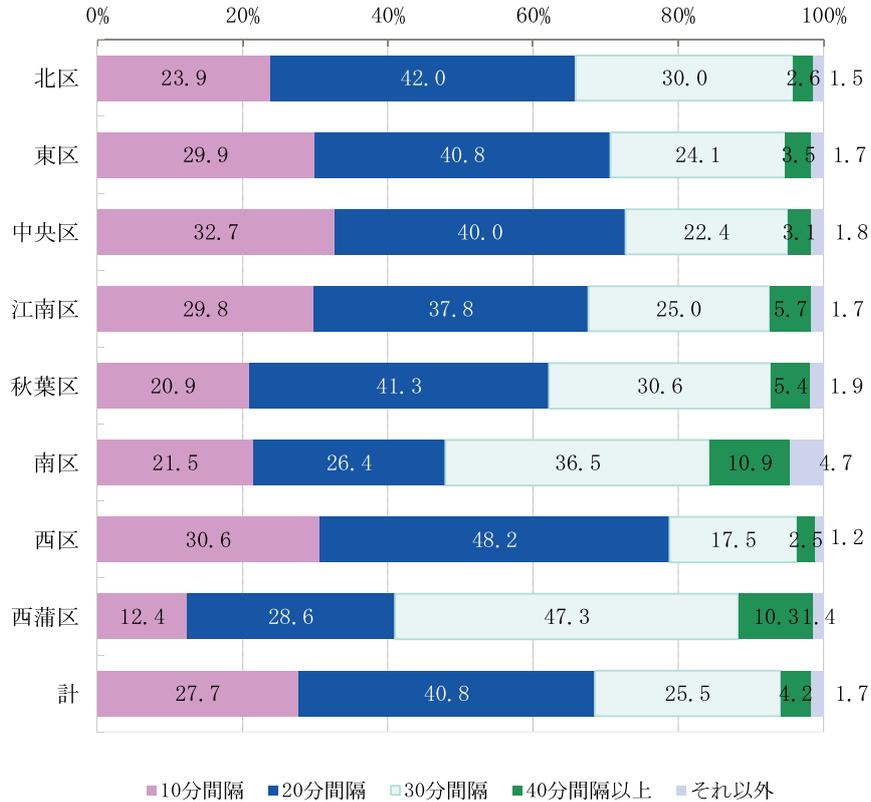


図 希望する鉄道運行間隔

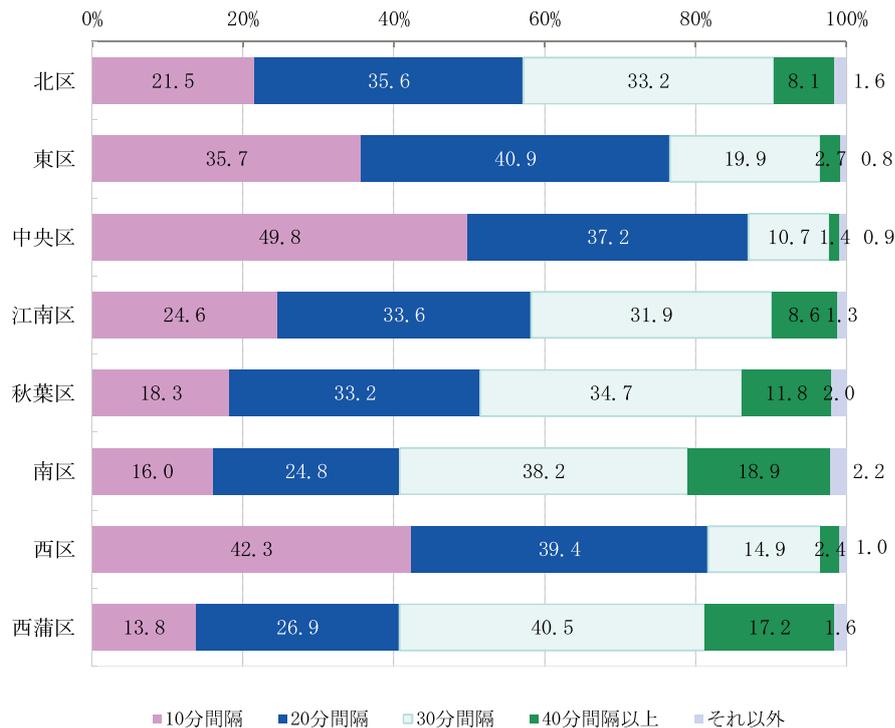


図 希望するバス運行間隔

### ③交通環境に対する市民意識調査(2018年3月)

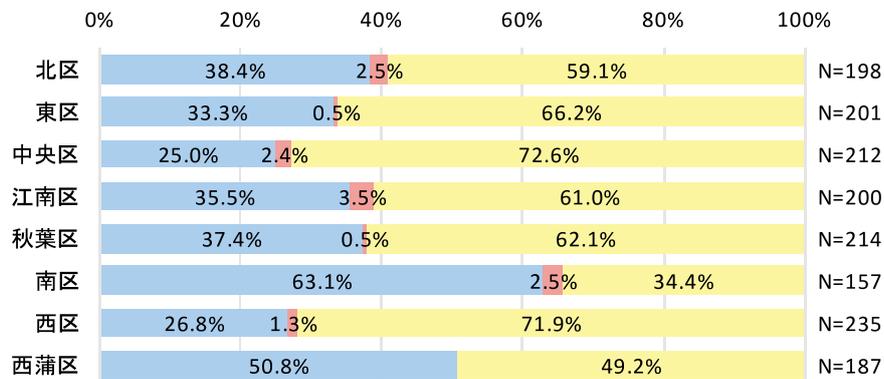
#### (ii)公共交通の利用意向

- 市民意識調査の結果、大多数が現在公共交通を利用している、もしくは、今後利用したい意向があることがわかります。
- 区別の公共交通利用意向を見ると、南区や西蒲区で利用意向が高くなっています。
- 年齢階層別では、40代の利用意向が高くなっている一方で、20代後半は「今後も利用するつもりはない」との割合が、他階層よりもやや高くなっています。
- 今後は利用意向の高いターゲット等に向けて、特に働きかけていく必要があります。

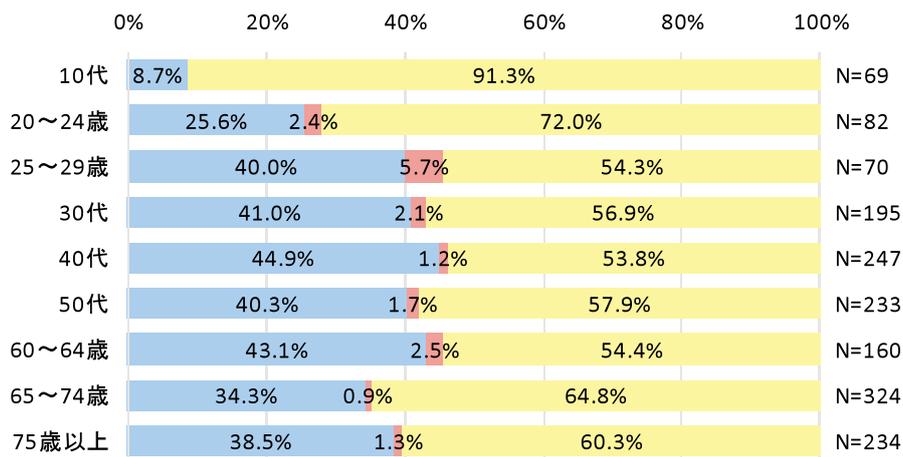
#### 公共交通全体意向(全体)



#### 公共交通利用意向(区別)



#### 公共交通利用意向(年齢階層別)



- 現在利用していないが、今後利用したい
- 現在利用しておらず、今後も利用するつもりはない
- 現在すでに利用している

図 公共交通の利用意向(上:区別、下:年齢階層別)

### 自動車に頼らなくても移動しやすいか

「自動車に頼らなくても移動しやすい」と思わない市民の割合は約 8 割を占めており、区別で見ると南区で約 9 割と特に高い割合となっています。

### 交通手段（鉄道・バス）満足度

満足している回答割合は、鉄道が 3 割、バスが約 2 割となっており、同規模の他都市と比較しても低い状況となっております。

### 公共交通の利用意向

大多数が現在公共交通を利用している、もしくは、今後利用したい意向をもっています。

40 代の利用意向が高くなっている一方で、20 代後半は「今後も利用するつもりはない」との割合が、他階層よりもやや高くなっています。